

研究機関名：東北大学

受付番号：	2013-1-223
研究課題名	炎症性筋疾患の分子病態の解析
研究期間	西暦 2009 年 7 月 (倫理委員会承認後) ~ 2015 年 6 月
対象材料	<p>■病理材料 (対象臓器名 骨格筋 心筋 横隔膜)</p> <p>■生検材料 (対象臓器名 骨格筋)</p> <p>□血液材料 □遊離細胞 ■その他 (診療記録・医療画像)</p>
上記材料の採取期間	西暦 1990 年 4 月 ~ 2013 年 7 月
意義、目的	<p>炎症性筋疾患は臨床的に進行性の四肢の筋力低下、病理学的に筋組織への免疫細胞の浸潤と筋細胞の変性・壊死を特徴とする原因不明の疾患群であり、多発筋炎・皮膚筋炎・封入体筋炎・サルコイド筋炎などを含む。いずれの疾患も比較的稀であり、病態解明・治療法の開発には困難が多い。現在ステロイドをはじめとする免疫を抑制する治療が行われているが、年余にわたる服用を要し、日和見感染など生命を脅かす多種の副作用を伴っている。本研究では炎症性筋疾患の筋検体を用いて免疫分子、筋変性や再生に関わる分子を解析し、その他の疾患と比較検討を行い、病態の解明とより標的を絞った有効で安全な治療法の開発を目的としている。</p>
方法	<p>炎症性筋疾患および比較の対照として他の神経筋疾患筋組織を用いて組織学的解析および免疫組織化学、発現している RNA を解析することにより、慢性炎症にかかわる分子、筋の変性、壊死・再生に関わる分子の発現状態を解析する。臨床的データとの関連を検討する。解析結果は匿名化し、個人情報の保護を行う。</p>
問い合わせ・苦情等の窓口	<p>東北大学神経内科 豎山真規 022-717-7189</p>